

### 美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434  
ashiya-bihaku@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-25)

#### アートスタディプログラム《Bihaku Room/びはくルーム》

●ワークショップ「誰かのためのシルクスクリーン」  
■日時 4月17日(日)【第一部】午前9時30分～午後0時30分【第二部】午後2時～5時  
■会場 体験学習室 ■内容 多様な素材にプリントできるシルクスクリーン技法を使って誰かに贈るための手ぬぐいを制作します。こちらで準備したシンプルな形の版を、組み合わせや色を変えながら刷り、模様をつかっていきます。 ■対象 小学生以上・各回10人 ■講師 小出麻代氏(美術家) ■参加費 500円(材料費) ■申し込み 4月10日(日)までに、氏名・住所・電話番号を電話かEメールで上記へ。応募者多数の場合は抽選。

●フィールドワーク「浜辺のみやげ」  
■日時 4月23日(土)午前10時30分～午後4時 ■会場 体験学習室・芦屋浜など  
■内容 芦屋の浜辺を散策し、河川や海岸に流れ着いた陶片・貝殻・流木・プラスチックなどを採集します。その後、それらの漂流物を組み合わせて、その土地のおみやげを作ります。 ■対象 小学生以上・15人 ■講師 中村裕太氏(美術家) ■参加費 200円(材料費) ■持ち物 お弁当・飲み物・レジャーシート ■申し込み 4月17日(日)までに、氏名・住所・電話番号を電話かEメールで上記へ。応募者多数の場合は抽選。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)  
【3月の休館日】4月15日まで展示替えのため休館

### 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244  
ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp(〒659-0052 伊勢町12-15)

#### 【春の特別展】谷崎潤一郎 物語の棲み家

～「ナオミの家」から「倚松庵」まで～

■会期 4月2日～6月26日 ■会場 展示室 ■内容 小説の雰囲気合う住居を求め続け、生涯に40回を超える引っ越しをした谷崎潤一郎(1886～1965年)。谷崎が阪神間に住んでいた時代に焦点を当て、「痴人の愛」に描かれた「ナオミの家」、「夢喰ふ蟲」を執筆した「鎖瀾閣」、「細雪」の邸宅のモデルになった「倚松庵」などを紹介。谷崎の愛した家具調度や「ナオミの家」の間取り図、今はなき「鎖瀾閣」の外観・内部写真と模型など約100点を展示。「倚松庵」で谷崎が使ったテーブルといすは、実際に座っていただけます。 ■参加費 要観覧料

#### ●市民特別内覧会 谷崎潤一郎 物語の棲み家

～「ナオミの家」から「倚松庵」まで～

■日時 4月1日(金)午前10時～正午 ■会場 展示室 ■内容 上記の特別展開催に先立ち、市民を対象とする特別内覧会を開きます。学芸員による解説も午前10時30分から行います。住所の記載された健康保険証・運転免許証などの公的書類を必ず一人ずつお持ちください。身分証をお持ちでないかた、市外在住のかたはお連れさまでも入場できません。 ■参加費 無料

#### 【ロビーギャラリー】「四代目中村鴈治郎襲名披露」写真展

～坂田藤十郎「曾根崎心中」一世一代～

■会期 4月2日～5月22日 ■会場 ロビーギャラリー  
■内容 上方歌舞伎の大名跡、中村鴈治郎の襲名披露公演をカメラマンの楓大介氏がとらえた写真展です。藤十郎がお初を、鴈治郎が徳兵衛を演じた「曾根崎心中」の舞台写真は必見です。会期中の毎日曜日午後2時から、楓氏が歌舞伎の魅力語るギャラリートークを行います。 ■参加費 要観覧料

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【3月の休館日】22日(火)・28日～4月1日は展示入れ替えのため休館 【観覧料】一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料 ※( )内は20人以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた1人は各当日料金の半額 ※特別展開催期間中は料金が異なります

### GATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライあぐる


オープニング	仲ノ池緑地	①9:00
トピックス	芦屋シティグラフ(市勢要覧)を 発行しました	②12:00 ③15:00
特集	みんなで育てる地域の学校 あしや学校支援ボランティア	④18:00 ⑤22:30
お知らせ	年度末・年度始めの 市役所本庁舎の一部開庁	※DVDの 貸出可
エンディング	芦屋の四季	

■広報番組「あしやトライあぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。  
■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ J-COMカスタマーセンター ☎0120-999-000(午前9時～午後6時)


### 国際フォーラム「音楽とトークで描く芦屋の未来」

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700

■日時 5月14日(土)午後2時開演(開場1時30分) ■会場 ルナ・ホール  
■内容 激動の祖国から安住の地を求めて来日した人々と、21世紀の多文化共生を語り合い、子どもたちによる「世界のあそび歌」と民族楽器演奏を楽しむ ■出演 三宅正弘(武庫川女子大)/愛新翼(孫文記念館館長)/ダルビッシュ・セファット・ファルサ(フェダラルマネジメント株式会社代表)/プリー&ダリア・アナビアン(ベルシャ文化伝道師)/李亜輝(二胡演奏)/みんなげんきミュージカルチーム ■入場料 1,000円(前売り・当日)※全席自由席 ■チケット販売所 市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット(Lコード51475) ※3月16日(水)より発売開始



ダルビッシュ・セファット・ファルサ



みんなげんき  
ミュージカルチーム

### 春の講座 開講記念講演会

問い合わせ 公民館 ☎35-0700

■日時 4月1日(金)・午前10時～11時30分 ■会場 市民センター 401室  
■テーマ コミュニケーション・ビタキ入門 ■定員 先着100人 ■講師 ラジオパーソナリティ・増井孝子氏  
■申し込み 直接会場へ



増井孝子氏

### 春の公民館講座・受講生募集

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

(1)「文化の歴史」講座  
■日時 4月6日～9月14日・午前10時30分～正午(水・全6回) ■会場 市民センター301室ほか ■内容 関ヶ原の戦と大坂の陣～大河ドラマ「真田丸」によせて①②/3回目以降は、「文化の歴史」の本質に迫る、ミステリーセミナーを設定 ■定員 60人 ■講師 田辺真人氏(園田学園女子大学名誉教授) ■費用 2,400円

(2)歴史を語る講座 一戦後の日本の歩み  
■日時 4月8日～9月9日・午前10時～11時30分(金・全6回) ■会場 市民センター401室 ■内容 ポツダム宣言受諾/平和国家の誕生/池田勇人と高度経済成長/沖繩と昭和天皇ほか ■定員 120人 ■講師 菅原美文氏(城郭・歴史研究者) ■費用 2,400円

(3)世界はニュースだけではわからない(時事経済)  
■日時 4月16日～9月17日・午後2時～3時30分(土・全6回) ■会場 市民センター401室 ■内容 ニュースだけではわからない出来事の本質を解説/アメリカ大統領選挙のこれから ■定員 120人 ■講師 小池洋次氏(関西学院大学教授) ※2回目以降のテーマ・講師は直前回に連絡 ■費用 2,400円

(4)芦屋病院公開講座  
■日時 4月9日～9月3日・午後2時～3時30分(土・全6回) ■会場 市民センター401室 ■内容 &講師 これからのがん治療～芦屋病院の役割/西浦哲雄医師(副病院長)/出張!糖尿病教室・片岡政子医師(糖尿病内科)/心不全と食事・北川泰生医師(循環器内科)ほか ■定員 80人 ■費用 800円

【申し込み】①講座名②住所③氏名④電話番号を記入し、(1)24日、(2)28日、(3)(4)4月1日までにはがきかファクスで上記へ ※すべて、応募多数の場合抽選(市内在住のかたを優先)。

## 平成27年度までの財政収支見込みについて

本市では、新年度予算(案)をお知らせするこの時期に合わせ、向こう10年間にわたる各年度の収入および支出の見込みを立て、「長期財政収支見込み」として作成、公表しています。

今回、平成27年度までの長期財政収支見込みを作成しましたので、その概要をお知らせします。(詳細は、市ホームページをご覧ください)

○収支の状況  
以下の表は、平成29年度から37年度までの歳入および歳出について、市税をはじめとした一般財源の歳入と、一般財源でまかなう歳出を抜き出して示したものです。  
少子高齢化社会の進行に伴う高齢者の医療費などの社会保障関係経費の増加に加えて、公共施設の整備・改修等の計上に伴い、歳入歳出差引の9年間の合計は△69億円となっています(不足額は基金で補てんします)。

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	合計
歳入	273	311	271	284	265	265	264	260	260	—
歳出	314	309	289	271	265	269	266	270	269	—
歳入歳出差引	△41	2	△18	13	0	△4	△2	△10	△9	△69

※端数処理のため合計または差し引きが一致しないことがあります。

○これからの財政運営  
今後の財政運営としましては、以下の点に十分注意してまいります。

- 少子高齢化の影響により、今後も社会保障関係経費はさらに増加することが見込まれることから、それに備えた財政運営を行います。
- 公債費については、平成25年度および26年度に繰上償還を積極的に行い、以後の償還額を減らすことができていますが、新規事業に伴う新たな借入も発生するため、引き続き適正な水準の確保に努めます。
- 長期財政収支見込みでは、当面予想される経費について考慮していますが、現段階で検討中あるいは事業実施が未確定で、事業費や財源が明らかでない経費は含んでいません。新しい事業を行う場合は、財源の確保など慎重に検討を行います。



## 予算を家計にたとえると…

平成28年度予算を家計(年収600万円の世帯)にたとえました。収入については、給与収入等の自主財源の割合が多いのが特徴です。支出については、償還経費の減少により、ローンの返済が減少しています。また、市営住宅大規模集約事業の実施等により、家の増改築や電気製品の購入などにかかる費用が増加しています。

■歳入	
一般会計予算額(千円)	家計に置き換えた場合の年間収入(円)
自主財源	給与収入 2,895,294
市税	21,849,821
財産収入、使用料・手数料収入など	資産運用や預貯金の引き出しなどの雑収入 913,562
6,894,345	
国・県支出金、地方交付税、地方譲与税など	親などからの援助 1,343,498
10,138,934	
市債	借入金 847,646
6,396,900	
歳入の合計	収入の合計 6,000,000
45,280,000	
■歳出	
一般会計予算額(千円)	家計に置き換えた場合の年間支出(円)
義務的経費	食費 1,050,452
人件費	医療費など 864,246
7,927,409	
扶助費	ローンの返済 659,898
6,522,176	
公債費	光熱費や日用品など 1,019,121
4,980,031	
物件費	家の増改築や電気製品の購入など 1,278,791
7,690,967	
維持補修費	子どもへの送り 682,906
9,650,611	
普通建設事業費	町内会費や知人への援助など 381,362
9,650,611	
繰出金	貯金 57,924
5,153,667	
補助費等	不意の出来事への備え 5,300
2,878,009	
積立金	
437,130	
予備費	
40,000	
歳出の合計	支出の合計 6,000,000
45,280,000	

### 市民一人当たりに使われるお金は

468,020円

金額	構成比
総務費 54,363円	11.6%
民生費 145,728円	31.1%
衛生費 40,716円	8.7%
土木費 95,710円	20.5%
消防費 19,807円	4.2%
教育費 53,372円	11.4%
公債費 51,474円	11.0%
その他 6,850円	1.5%
合計 468,020円	100.0%

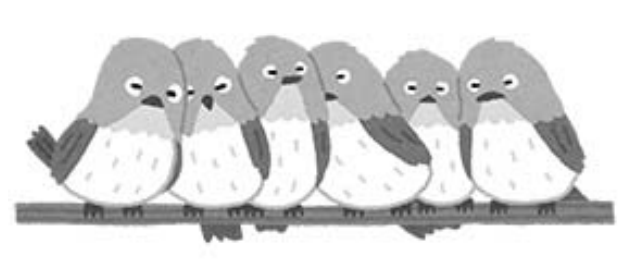
※平成28年1月1日現在の住民基本台帳人口 96,748人で試算しました。

一般会計の予算額は、452億8000万円、前年度に比べて17億1000万円(3.9%)の増加となつています。芦屋の魅力を高め、発信することを目指して、特に総合戦略関連事業に重点を置いた予算編成を行い、総合戦略推進に要する経費として1億円の特別枠を確保しました。

また、屋外広告物の撤去や耐震改修促進事業の拡充・防災行政無線個別受信機および防災情報受信端末の設置・

### 平成28年度予算(案)

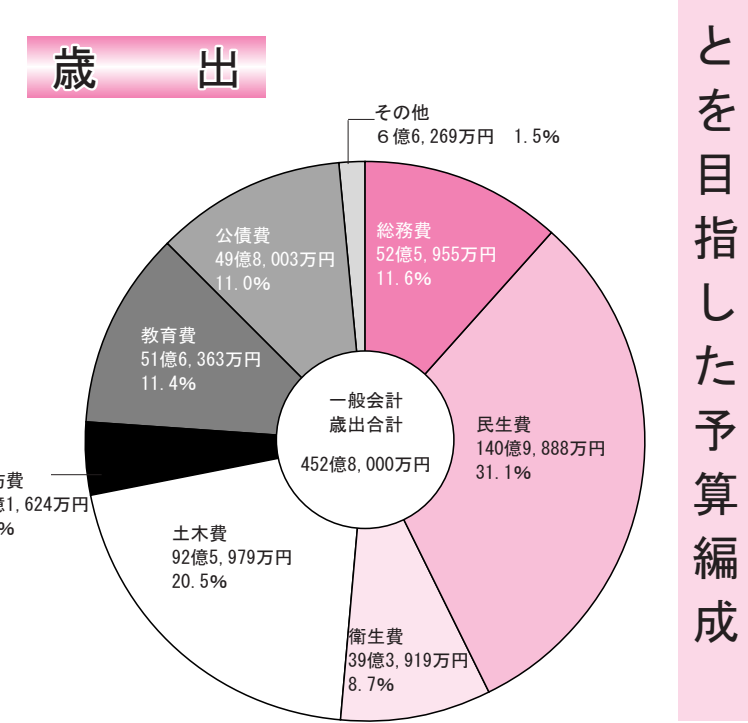
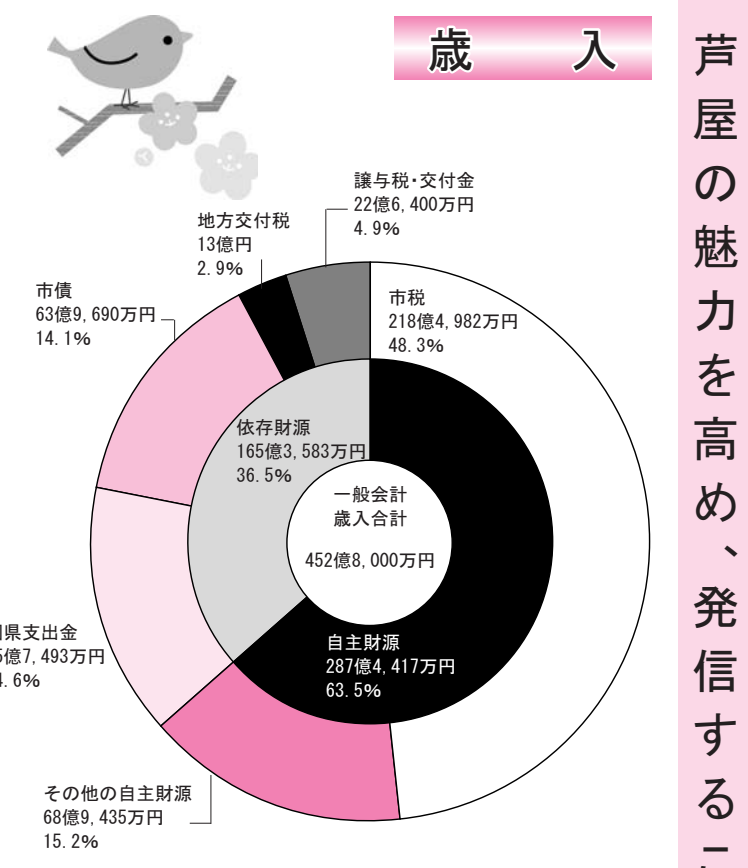
区分	予算額	増減率(%)
一般会計	452億8,000万円	3.9
特別会計	311億5,070万円	5.4
国民健康保険事業	117億4,000万円	5.4
下水道事業	30億4,900万円	2.1
公共用地取得費	49億6,200万円	1.3
都市再開発事業	3億3,400万円	1,411.3
駐車場事業	1億8,670万円	△8.5
介護保険事業	84億7,800万円	4.7
宅地造成事業	3億3,300万円	
後期高齢者医療事業	20億6,800万円	10.9
企業会計	94億5,160万円	2.2
病院事業	63億3,657万円	5.5
上水道事業	31億1,503万円	△4.0
財産区会計	1,050万円	△5.4
合計	858億9,280万円	4.3



## 平成28年度 予算(案)概要

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

2月16日開会の市議会に提案しました平成28年度予算案の概要をお知らせします。  
市の予算は、一般会計特別会計・企業会計財産区会計の4種類の会計で構成されており、平成28年度の予算総額は858億9280万円となります。



芦屋の魅力を高め、発信することを目指した予算編成